

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- 漢字や語彙など基礎・基本となる事柄の指導を継続的に行い、「読むこと」や「書くこと」に活用できている。

授業ではグループワークなどの言語活動を積極的に取り入れていることに加え、タブレットを活用して情報を収集したり、アプリを活用して互いの意見を発表したりする活動を行っている。このことで自己の考えを形成することへの抵抗感が無くなるだけでなく、自己の考えをより多角的に深めることができている。

(2) 課題

- どの項目も目標値を上回った。とくに1・2学年では「思考・判断・表現」が、3学年では「知識・技能」が目標値を大きく上回る結果となった。一方、1・2学年では「知識・技能」が、3学年では「思考・判断・表現」に関しては目標値との差が小さく、改善の余地があると考えられる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	総合 △ 知識・技能 ≡ 思考・判断・表現 △ 主体的 △		
第2学年	総合 △ 知識・技能 ≡ 思考・判断・表現 △ 主体的 ≡	総合 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的 △	
第3学年	総合 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的 △	総合 ≡ 知識・技能 ≡ 思考・判断・表現 ≡ 主体的 ≡	総合 △ 知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的 △

(2) 分析（観点別）

第1学年 3観点のすべてにおいて目標値を上回る。
第2学年 3観点のすべてにおいて目標値を上回る。
第3学年 3観点のすべてにおいて目標値を上回る。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語句や文法事項では、文章読解や小テストの中で、基礎的な知識を定着させていく。また、作文等の中で使えるように指導し、語感を磨かせていく。情報の扱い方については、原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解させることを指導していく。	「話すこと・聞くこと」では目的や場面に応じ、自分の考えを伝えられるよう言語活動に取り組む。「書くこと」では、根拠を明確にししながら自分の考えが伝わる文章になるよう指導していく。「読むこと」では文の要旨を把握出来るよう文の中心的部分に注目するよう指導していく。	学習の振り返りを行い、学習した語句や表現を使用する機会を設け、学んだことを次の学習に活かそうとする態度の育成に努める。また、個→集団→個という形で、自分の思いや考えを積極的に表現し、考えや理解を深められたことを、実感できる環境を整える。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きについては、帯活動として漢字学習を実施する。また、文法事項では練習問題等を通じ、基礎的な知識を定着させ、文章等の中で使えるように指導していく。情報の扱い方については、原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解させることを指導していく。	「話すこと・聞くこと」では、資料や機器を用い、自分の考えが分かりやすく伝わるように工夫することに取り組む。「書くこと」では、根拠の適切さを考え、表現を工夫しながら自分の考えが伝わる文章になるよう指導していく。「読むこと」では、文章の全体と部分の関係に注目し、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などが捉えられるよう指導していく。	4人グループによる学び合いの活動を行い、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることで、自己の考えを深めようとする態度を養っていく。タブレットによる学習の振り返りを行い、学習した語句や表現を使用する機会を設け、学んだことを次の学習に活かそうとする態度の育成に努める。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
既習の常用漢字について、短文等の中でどのように使われるか理解し、書けるようにする。語彙については慣用句や四字熟語などについて理解を深め、和語、漢語、外来語などを使い分けて短文を書き、語感を磨く。また、創作する文章において、具体と抽象の関係を意識して書き分けるとともに、参考にする情報の信頼性を確かめて使うようにする。	「話すこと・聞くこと」では、自分の立場や考え方を明確にし、相手を説得できるよう論の展開を考えて話の構成を工夫するよう話し合い活動を行う。「書くこと」では、目的に応じて社会生活の中から題材を決め、集めた情報の信頼性や客観性を確認して書けるよう指導する。「読むこと」では文章を批判的に読みながら文章にあらわれているものの見方について考えられるよう指導する。	4人グループによる学び合いの活動やタブレットの活用を推進し、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることで、自己の考えを深めようとする態度を養っていく。また、読書を通じて知識や情報、自分の考えを広げるのに役立つこと、また自分の表現を豊かにするのに役立つことを理解させ、自ら語感を磨く態度を身につけさせる。